

記載例 (特定施設No.7 1 - 2に該当する場合)

特 定 施 設 設 置 届 出 書

〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先) 宇都宮市上下水道事業管理者

	〒〇〇〇-〇〇〇〇
申請者	住所 宇都宮市〇丁目〇〇番〇〇号
	電話番号 Tel 〇〇〇-〇〇〇〇
	氏名又は名称、及び法人にあつては 株式会社 ○ ○
	その代表者の氏名 代表取締役 宇都宮太郎

下水道法第12条の3第1項（下水道法第25条の10において準用する同法第12条の3第1項）の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社 〇〇〇〇〇	※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地	宇都宮市〇丁目〇〇番〇〇号	※ 受理年月日	年 月 日
特定施設の種類	No.7 1 の2 イ. 洗浄施設	※ 施設番号	
△ 特定施設の構造	別紙のとおり。	※ 審査結果	
△ 特定施設の使用の方法	別紙のとおり。	※ 備考	
△ 汚水等の処理の方法	別紙のとおり。		
△ 下水の量及び水質	別紙のとおり。		
△ 用水及び排水の系統	別紙のとおり。		

備 考

- 1 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き日本工業規格A4とすること。

特定施設の 種類	No.71の2 イ. 洗浄施設	No.71の2 イ. 洗浄施設
型式	〇〇-〇 (シンク)	××-× (シンク)
構造	ステンレス製トラップ付	ステンレス製トラップ付
主要寸法	幅 600 mm 高さ 800 mm 奥行き 600 mm	幅 1,200 mm 高さ 800 mm 奥行き 750 mm
能力		
数量	2台	2台
その他 参考事項		
工事着手予定年月日	工事完了予定年月日	使用開始予定年月日
〇〇・〇〇・〇〇	〇〇・〇〇・〇〇	〇〇・〇〇・〇〇
※ 添 付 書 類	<ul style="list-style-type: none"> ・当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置図 (別図) ・特定施設、汚水等の処理施設の設置場所、排水口の位置、敷地内における排水経路 (別図) ・案内図 (別図) 	

※ 添付書類の大きさは可能な限り日本工業規格A4とすること。

特定施設の 種類	No.71の2 イ. 洗浄施設					
使用時間間隔	8:30 ~ 17:00					
1日あたりの 使用時間	3時間					
季節的変動	なし					
	※ 使用原材料 の種類	使用方法	1日当たり の使用量	※ 使用原材料 の種類	使用方法	1日当たり の使用量
原材料（消耗資材 を含む。）の種類、 使用方法及び1日 当りの使用料	洗剤 水 薬品等 別紙のとおり	洗浄 〃	50 ml 80 l			

※ 使用原材料については商品名だけでなく成分名についても記入すること。
(成分表を添付してもよい。)

特定施設の種類		No.7 1-2 イ. 洗浄施設		通常値	最大値	
		通常値	最大値			
汚水等	生活環境の保全に係る項目	pH	6.9	2.0~11.5		
		BOD	8.0	500		
		COD				
		SS	12	500		
		ノルマルヘキサン抽出物質 (鉱油類)	<0.5	3		
		ノルマルヘキサン抽出物質 (動植物油脂)	<0.5	3		
		フェノール類				
		銅	<0.01	0.5~1		
		亜鉛	<0.01	1~2		
		溶解性鉄	<0.03	0.5~1		
		溶解性マンガン	<0.1	2~4		
		総クロム	<0.2	<0.2		
		大腸菌群数				
		窒素				
		燐				
水の質	人の健康の保護に係る項目	カドミウム及びその化合物	<0.005	<0.005		
		シアン化合物	<0.1	<0.1		
		有機燐化合物				
		鉛及びその化合物	<0.01	<0.01		
		六価クロム化合物	<0.02	<0.02		
		砒素及びその化合物	<0.01	<0.01		
		水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	<0.0005	0.01		
		アルキル水銀化合物				
		ポリ塩化ビフェニル				
		トリクロロエチレン				
		テトラクロロエチレン				
		ジクロロメタン				
		四塩化炭素				
		1,2-ジクロロエタン				
		1,1-ジクロロエチレン				
		シス-1,3-ジクロロプロペン				
		1,1,1-トリクロロエタン				
		1,1,2-トリクロロエタン				
		1,3-ジクロロプロペン				
		チウラム				
		シマジン				
		チオベンカルブ				
		ベンゼン				
		セレン	<0.01	<0.01		
		アンモニア性窒素, 亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素				
		ほう素				
		ふっ素				
1,4-ジオキサン						
ダイオキシン類						
汚水量 (m ³ /日)		0.1	0.12			
その他の参考事項						

※pH [無単位], 大腸菌群 [個/cm³], ダイオキシン類 [pg-TEQ/ℓ], その他の項目 [mg/ℓ]

処理施設の種類	物理化学的処理
処理の方式	中和・凝集沈殿
型式	〇〇型(手動)
構造	鉄製
主要寸法	高さ × 幅 × 奥行き 1.8 m 0.9 m 0.5 m
能力	汚水 20 ℓ/時
集水及び導水方法	バッチ式(ポリタンク等に貯めた汚水を処理)
使用時間間隔	1回/月 (9:00 ~ 17:00)
1日当りの使用時間	0.4 時間/日
季節的変動	なし
消耗資材の 1日当りの 用途別使用量	中和用 NaOH 25 g 凝集用 鉄粉 25 g " 高分子凝集剤 7.5 g

特 定 施 設 の 種 類		物理化学的処理		物理化学的処理		
		処 理 前		処 理 後		
		通 常 値	最 大 値	通 常 値	最 大 値	
汚 水 等 の 水 質	生活環境の保全に係る項目	pH	6.9	2.0~11.5	6.9	6.0~8.0
		BOD	8.0	500	2.7	167
		COD				
		SS	12	500	4.0	167
		ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)	<0.5	3	<0.5	1
		ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂)	<0.5	3	<0.5	1
		フェノール類				
		銅	<0.01	0.5~1	<0.01	<0.01
		亜鉛	<0.01	1~2	<0.01	<0.01
		溶解性鉄	<0.03	0.5~1	<0.03	0.5
		溶解性マンガン	<0.1	2~4	<0.1	<0.1
		総クロム	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2
		大腸菌群数				
		窒素				
		燐				
		人 の 健 康 の 保 護 に 係 る 項 目	カドミウム及びその化合物	<0.005	<0.005	<0.005
シアン化合物	<0.1		<0.1	<0.1	<0.1	
有機リン化合物						
鉛及びその化合物	<0.01		<0.01	<0.01	<0.01	
六価クロム化合物	<0.02		<0.02	<0.02	<0.02	
砒素及びその化合物	<0.01		<0.01	<0.01	<0.01	
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	<0.0005		0.01	<0.0005	<0.0005	
アルキル水銀化合物						
ポリ塩化ビフェニル						
トリクロロエチレン						
テトラクロロエチレン						
ジクロロメタン						
四塩化炭素						
1,2-ジクロロエタン						
1,1-ジクロロエチレン						
シス-1,3-ジクロロプロペン						
1,1,1-トリクロロエタン						
1,1,2-トリクロロエタン						
1,3-ジクロロプロペン						
チウラム						
シマジン						
チオベンカルブ						
ベンゼン						
セレン	<0.01		<0.01	<0.01	<0.01	
アンモニア性窒素, 亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素						
ほう素						
ふっ素						
1,4-ジオキサン						
ダイオキシン類						
汚水量 (m ³ /日)		0.1	0.12	0.1	0.12	
汚水等の処理の系統(各系統の水量も記入のこと)		(別図)				

※pH [無単位], 大腸菌群 [個/cm³], ダイオキシン類 [pg-TEQ/ℓ], その他の項目 [mg/ℓ]

処理施設の種類	物理化学的処理	
処理残さの種類	酸化鉄スラッジ	
1月間の種類別 生成量	酸化鉄スラッジ 1.5 kg/月	
処理残さの 処理方法概要	産業廃棄物処理業者に委託処分 〇〇〇〇(株) Tel 〇〇〇-〇〇〇〇	
その他参考事項		
排出口の 排出の方法	排水の方法 (○でかこむこと)	公共用水域に放流 循環使用 <u>公共下水道接続</u> その他()
	排水口の数	1
	排出先	宇都宮市公共下水道
工事着手予定年月日 〇〇・〇〇・〇〇	工事完了予定年月日 〇〇・〇〇・〇〇	使用開始予定年月日 〇〇・〇〇・〇〇

排水口の別		公共樹		通常値	最大値	
		通常値	最大値			
汚水等の水質	生活環境の保全に係る項目	pH	6.9	6.0~8.0		
		BOD	2.7	167		
		COD				
		SS	4.0	167		
		ノルマルヘキサン抽出物質(鉱油類)	<0.5	1		
		ノルマルヘキサン抽出物質(動植物油脂)	<0.5	1		
		フェノール類				
		銅	<0.01	<0.01		
		亜鉛	<0.01	<0.01		
		溶解性鉄	<0.03	0.5		
		溶解性マンガン	<0.1	<0.1		
		総クロム	<0.2	<0.2		
		大腸菌群数				
		窒素				
		燐				
	人の健康の保護に係る項目	カドミウム及びその化合物	<0.005	<0.005		
		シアン化合物	<0.1	<0.1		
		有機燐化合物				
		鉛及びその化合物	<0.01	<0.01		
		六価クロム化合物	<0.02	<0.02		
		砒素及びその化合物	<0.01	<0.01		
		水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	<0.0005	<0.0005		
		アルキル水銀化合物				
		ポリ塩化ビフェニル				
		トリクロロエチレン				
		テトラクロロエチレン				
		ジクロロメタン				
		四塩化炭素				
		1,2-ジクロロエタン				
		1,1-ジクロロエチレン				
		シス-1,3-ジクロロプロペン				
		1,1,1-トリクロロエタン				
		1,1,2-トリクロロエタン				
1,3-ジクロロプロペン						
チウラム						
シマジン						
チオベンカルブ						
ベンゼン						
セレン	<0.01	<0.01				
アンモニア性窒素, 亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素						
ほう素						
ふっ素						
1,4-ジオキサン						
ダイオキシン類						
汚水量 (m ³ /日)		1.1	2.12			
その他の参考事項						

※pH [無単位], 大腸菌群 [個/cm³], ダイオキシン類 [pg-TEQ/l], その他の項目 [mg/l]

届出等担当者	所属、職名	株式会社 ○○ ○○課	
	連絡先	住所 宇都宮市○○丁目○○番○○号 Tel ○○ (○○○) ○○○○	
	氏名	宇都宮 太郎	
事業場規模	資本金	0,000,000	円
	年商額	0,000,000	円
	従業員数	総従業員数 ○○ 人 正社員 ○○ 人 臨時社員 ○○ 人	
	敷地面積	○○○	m ²
	建屋面積	○○○	m ²
主要製品 (加工、処理を含む)	主要製品名	生産量 (/年)	備考
	水質分析	1,000 検体/年	
	ばい煙測定	1,000 検体/年	
除害処理施設	設計施行者	○○ 株式会社	
	工事費用	0,000,000	円
	資金内訳	自己資金 0,000,000 円 借入金 円	
<p>特定施設が関係する製造工程の概要</p> <pre> 試料 → 前処理 → 汚水 (基準値以内) → 洗浄施設 → 放流 ↑ 汚水 (基準値オーバー) → 処理施設 </pre>			
その他	<p>1 工場・事業場の平面図 (建物, 施設等の配置状況を記載市し、今回の届出施設及び排水の測定場所を朱塗すること。)</p> <p>2 工場・事業場の案内図 (工場・事業場に至る経路を記載)</p> <p>3 届出書及び別紙に記載している事項については、あらためて記載を必要としない。</p>		